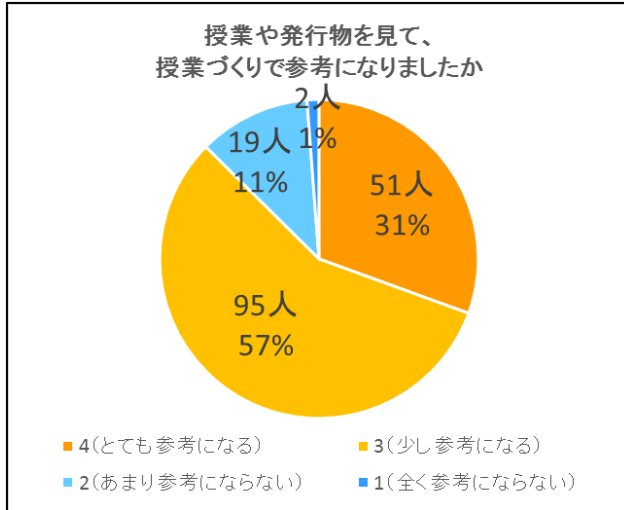


# 附属坂出中学校に対する公立中学校教員(近隣8校、167名)へのアンケート結果

平成30年11月実施 香川大学教育学部附属坂出中学校

## 1 これまでに、附属坂出中学校の研究発表会での授業や指導事例集等の発行物を見て、授業づくりで参考になりましたか。



### 肯定的な意見

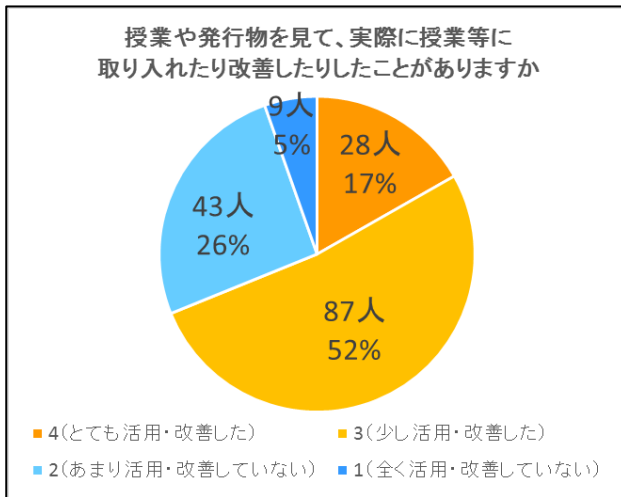
- ・新しい教材・教具やその工夫 (17)
- ・生徒が主体的に学習するための課題設定 (7)
- ・ワークシートやその項目 (6)
- ・生徒が考える授業の作り方 (3)
- ・指導案の書き方 (3)
- ・他教科との連携のポイント (3)
- ・授業の準備の大切さ (2)
- ・振り返りの工夫 (2)
- ・先進的な取組、よく研究された理論なので、刺激になったり参考になったりする。(2)
- ・思考のさせ方 (2)
- ・生徒の学習意欲を高める指導法について
- ・授業の導入
- ・生徒の心をつかむ授業の工夫ポイント
- ・IT機器の使い方
- ・練られた授業を見ることができることが一番参考になる。
- ・教材のどこに注目して、考えを深めさせればよいかということ
- ・常に先行研究をしており、テーマをもとに筋の通った生徒が生き生きと活動する授業ができています。
- ・新しい授業づくりの視点のヒントをもらっている。
- ・キーワードをもとに全ての教科が取り組んでいるという研究スタイルが参考になる。
- ・事例集などが自身の授業に活かせるので参考になる。
- ・新しい取組と変わらない取組の両方があり、勉強になる。
- ・授業づくりの新しい視点や方法を知ることができる。
- ・切り口のユニークさや発想の豊かさに加え、指導技術が大いに参考になる。
- ・色々な取組を見せてもらうだけでも刺激になる。
- ・授業のレベルが高いため、目標にしたい質の高い言語活動を見ることができる。
- ・実践事例が重ねられている。整理されている。
- ・授業デザインや授業展開の仕方 (15)
- ・思考を深める中心発問の仕方 (7)
- ・授業づくりの考え方や思い (4)
- ・生徒の発言のつなぎ方 (3)
- ・生徒へのかかわり方 (3)
- ・単元計画の仕方 (2)
- ・生徒に提示する資料の内容や精選 (2)
- ・板書のまとめ方 (2)
- ・話し合いのテーマや視点の持たせ方
- ・授業のまとめ方
- ・単元のねらいの見極め
- ・主題への迫り方
- ・ペアやグループ学習の進め方

### 否定的な意見

- ・附属教員と公立教員との情報交換会がもっと密にあれば、今以上に双方で良い関係が高まるだろう。
- ・坂出市内の学校で勤務する先生のように授業を見る機会が多い先生にとっては参考になるが、他の地域の先生はどうなのか。

- ・授業で活用した教材・教具が最も参考になっている。
- ・授業の基礎・基本(課題設定、発問、ワークシート、話し合い、振り返りなど)が多い。
- ・授業づくりの考え方や思いなど、深い授業研究を参考にしてくれている先生もいる。(下線)

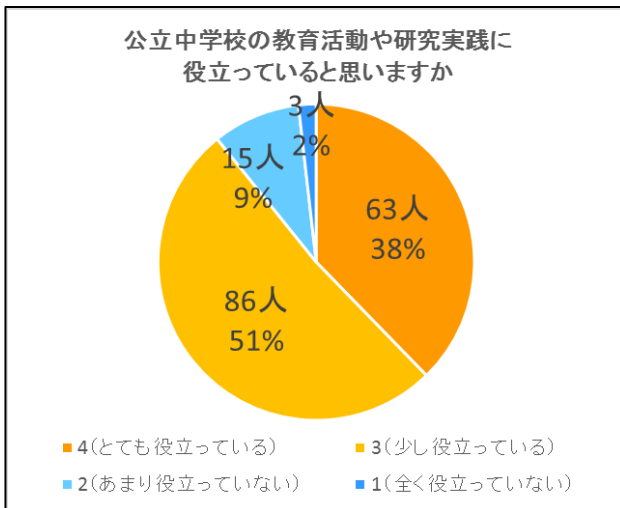
2 これまでに、附属坂出中学校の研究発表会での授業や指導事例集等の発行物を参考に、実際に授業等に取り入れたり改善したりしたことがありますか。



肯定的な意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見た授業を参考に、同じような授業の実践を試みた。(8)</li> <li>・学習課題の設定の仕方 (6)</li> <li>・振り返りのさせ方や振り返りシートの活用 (6)</li> <li>・話し合いの仕方 (5)</li> <li>・生徒への丁寧なかかわり方をまねしている。(3)</li> <li>・指導案を参考にして授業を行ったことがある。(2)</li> <li>・自分が指導案を書く時、いつも参考にしてしている。(2)</li> <li>・IT機器を使った授業を特に参考にして授業をしている。(2)</li> <li>・生徒の思考を深めさせるノウハウをたくさんの授業で取り入れている。(2)</li> <li>・香中社のハンドブックは、特に若手教員に大変参考になり、授業づくりの基礎を学ぶことができている。</li> <li>・グルーピングの方法を取り入れた。</li> <li>・防災マップを活用しての授業など、必要感のある学習を参考にした。</li> <li>・自然事象を見直す、思い込みをくつがえす教材を実際に授業で行ったことがある。</li> <li>・理科の実験で手法をまねたり、実験で行えそうな部分を取り入れたりした。</li> <li>・附属の先生が登場するDVD教材を授業の参考にしたりした。</li> <li>・ベン図などの思考ツールの活用や、パネラーとしての発表の仕方などを授業で活用している。(2)</li> <li>・タグラグビーを活用した。</li> <li>・単元計画で、種目の中に体育理論を取り入れた実践を行った。</li> <li>・授業で使っていた資料などを自分の授業でも活用している。</li> <li>・教科書や指導書をなぞるだけではない授業、発展的な授業の進め方を試した。</li> <li>・実際に授業に取り入れることで、題材のもつ意味の深さ、展開方法の広がりなどについて勉強になった。</li> <li>・授業の中でストーリー（物語）を作ること、振り返りを充実させることにチャレンジしている。</li> <li>・「主体的な学び」を実現する振り返りのさせ方を参考にして授業づくりを行った。</li> <li>・グループ学習での相互評価の観点を参考にして授業実践した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートやその項目 (6)</li> <li>・新しい教材・教具を参考に活用している。(6)</li> <li>・発問の仕方をまねた。(4)</li> <li>・導入部分や発問を試してみた。(2)</li> </ul>
否定的な意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いにもっと開かれた学校にする必要があるかもしれません。</li> <li>・学習活動は、4人に1台タブレットPCがあったり、イヤホンがあったりするので、まねができないところがある。</li> <li>・忙しくて活用したことはありません。</li> <li>・レベルが高すぎて参考にはなるが、活用は難しい。</li> </ul>	

- ・ 授業への活用については、実際に附属の授業を見ることの影響が大きい。
- ・ 指導方法や思考ツールなどの活用が多い。
- ・ 本校研究主題の「ものがたり」に関する記述は一人だけ  
→授業づくりの基礎・基本、教材研究の仕方などの提示が影響する。(若年教員への対応)

3 これまでの附属坂出中学校の教育研究や教員の取組は、公立中学校の教育活動や研究実践に役立っていると思いますか。



肯定的な意見

- ・各種研修会での指導者として、様々な視点からの確かな指導・助言をもらっている。(16)
- ・常に先進的な授業提案をしており、参考になる。(9)
- ・坂綾中研の研修会では、毎回、最新の資料提供をいただいている。(7)
- ・専門性を高める会(木曜会などの自主研修)を通して学んでいる。(6)
- ・自分の研究授業などで事前に指導やアドバイスをもらっている。(6)
- ・香中研では、事務局としてお世話になっている。(5)
- ・自分が研究授業をする際は、附属のような授業をしたいと思う。(3)
- ・校内研修をする時、指導者として来ていただき指導をもらった。(2)
- ・研究指定を受けたとき、研究の進め方などについてアドバイスをもらった。(3)
- ・新しい視点での教材化が参考になる。(教材研究のあり方)(3)
- ・授業づくりのヒントがたくさんある。(3)
- ・授業を見て、教材の何を考えさせたらよいか分かり、常の教材研究に取り入れることができている。(教材の捉え方)(2)
- ・自分の授業改善に役立っている。(2)
- ・色々な取組を実際に見て、研修することができる。
- ・香川の教育研究を常にリードしてくれている。
- ・教材研究の深さや資料の準備など、いつも素晴らしいと思って大いに参考にしている。
- ・一つの教育指針として模範になっている。
- ・どのような視点から生徒と向き合えばよいかについて学ばしてくれることが役立つ。
- ・研究に深さや専門性があり、話を聞いても大変参考になる。
- ・いつも感じる教育研究を先読みした技術や追究精神を学んでいる。
- ・指導実践において、具体的に指針を示してくれるので、公立中学校でもできることから実践していくことができる。
- ・公立中学校も刺激を受けて、より上をめざして研究できているところがありがたいと感じる。
- ・附属の実践は、常に自分の学校の教育活動に置き換えて考えている。模範にしている。
- ・同じ地域の研究同人として、とても刺激を受けている。
- ・研究のオブザーバー的役割やより深い学びを推進するリーダー的役割として大きい。
- ・以前は先進的な事例を教えてくれることが多かったが、最近は本校の生徒にも扱える授業や教材を紹介してくれることが増えてきた。

否定的な意見

- ・公立中学校の教育活動に役立つ教育研究となるような方向で研究内容等を設定しているのでしょうか。
- ・1つの内容に深く学習するほど授業時数がないので
- ・様々な研究を行う機会がないと公立ではその時間が取れず、発展していかない。
- ・若年の教員が増えている中で、誰もが実践できるレベルまで研究内容を落としてほしい、もっと分かりやすくしてほしいと思う。

- ・坂綾中研や香中研での指導・助言での役立ち感が大きい。
- ・公立の先生方と直接会って丁寧に関わることの大切さを忘れないこと。
- ・授業づくりに対する附属のあこがれ感が、公立の先生方の授業への熱意につながる。(下線)